

事業所名

障害児者支援センター虹

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念	4つの目標（①いのちを大切に、健康な心とからだづくりに努めます。②一人ひとりの人格を尊重し、どんなに重い障がいがあっても、明るくいきいきとした生活を目指します。③一人ひとりの能力、可能性を最大限に発揮できるよう努めます。④家族、地域の人との交流を深め、開かれた施設に努めます。5つの約束（①全職員は援助者であり、施設の主人公は利用者である。②全職員は、重い障がいがあっても、成長、発達への確信を持ち根気強く接すること。③虐待は認めない。④全職員はつねに、あわてない、しからない、笑顔をたやさない。⑤全職員はつねに、助け合い、協力しあい、自覚と責任をもって行動する。				
支援方針	1 障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の心身の状況及びその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。2 当該障害児の意思及び人格を尊重して、常に障害児の立場に立った指定放課後等デイサービスの提供に努めるものとする。3 地域及び家庭との結びつきを重視し、都道府県、関係市町村、学校、児童福祉施設、他の指定障害児通所支援事業者、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。				
営業時間	8時	30分から	17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	看護師職員を配置し、手洗い・うがい・手指消毒・健康チェック・服薬管理・服薬支援・怪我や病気の予防指導等・連絡帳の提出・災害時訓練・食事（おやつ含む）・運動活動（ラジオ体操等）・トイレトレーニング・可視化した活動内容・行事予定の把握・挨拶・物の管理（整理整頓・片付け）・道具の使い方の指導・買い物支援・清潔の維持・清掃活動・外出活動・公共交通機関の利用・映画鑑賞			
	運動・感覚	学習支援（宿題）・自由活動・集団活動（集団での散歩）・水活動（プール、川遊び、水風船遊び）・運動活動（野球、バスケット、ドッジボール、縄跳び、自転車遊び）・感覚遊び・自然体験・制作体験活動・刺激に慣れる練習			
	認知・行動	感覚活動（ブロック・積み木・パズル等）・外出活動・情報教育・時間やスケジュールの掲示・大小色の習得（お絵描き・塗り絵・工作・ブロック・積み木・パズル・アイロンビーズ・折り紙・オセロ・トランプ・ボードゲーム、ピンチ作業、空き缶潰し、さをり織り）、食事（おやつ含む） 小集団での遊びやゲーム・パーティーやタイマーの使用・SST（ソーシャルスキルトレーニング）			
	言語コミュニケーション	カードゲーム（トランプ・かるた）絵本の読み聞かせ・しりとりゲーム（言葉を用いた活動）・ボードゲーム・絵日記・外出時や行事等での挨拶や発表・言葉遣いの支援・楽器演奏・歌唱活動・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・メッセージカード作り・イラストや写真を使用した可視化			
	人間関係社会性	職員とのコミュニケーション・職員を介したお友達とのコミュニケーション・児童同士のコミュニケーション・家族とのコミュニケーション・放課後児童健全育成事業の子どもたちとのコミュニケーション・誕生会・自由活動・学習支援・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・マイルールの緩和・外出（行事への参加）			
家族支援	困り感などあれば様々な助言を行います。また保護者さまが安心して就労できる環境を提供します。また不安なケースがあった際はご家庭での情報提供や事業所内での情報提供を行います。	移行支援	必要に応じて、進級・進学・就職など様々な場面に合わせて学校、相談支援事業所等々、関係機関と連携を図り子どもたちが安心して日々の生活を送ることができるよう支援を行います。		
地域支援・地域連携	地域の学校や他事業所との交流をしながら、子どもだけではなく、職員間の連携を図ります。また必要に応じて関係機関と会議などを行い支援内容の情報共有を行うことでよりよい支援へつなげます。（相談支援事業所・学校・医療機関、行政と連携を図ります）	職員の質の向上	月に一回の職員会議や内外研修・毎日の朝礼を通して、職員同士の情報共有を日々行う。また、月1回保育士勉強会を行い、療育活動へ繋がります。		
主な行事等	夕涼み会、虹まつり、放デイお楽しみ会（家族交流会）、七夕、節分、クリスマス会、川遊び、流しそうめん、焼き芋大会、餅つき大会、外食				